

ペブルウォール

施工要領書

四国化成の製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

未永くご愛用いただくために、この「施工要領書」をよくお読みいただき、正しい施工をお願いします。

●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと、不具合発生の原因となる事があります。

おことわり

1. 施工面に強く触れると肌を傷つけることがありますので、注意してください。
2. 骨材は天然石のため、ロットにより多少色調の異なる場合があります。
3. 長期的には光沢がなくなり、天然石そのものの色になります。
4. 天然石には鉄分が含まれるため、錆が出る場合があります。

安全に関する注意事項

- 製品の特性を十分にご理解いただき、正しくかつ安全にご使用いただくために、次の事項につきまして、ご注意願います。
- より詳細な内容については、安全データシート (SDS) をご参照ください。

プライマーについては、吸引したり、皮膚に触れたりすると、中毒やかぶれを起こす恐れがあります。接着強化剤については、眼に入った場合、重篤な損傷を引き起こす場合があります。取扱いには下記の注意を守ってください。

【取扱上の注意】

1. 作業中は目、皮膚への接触を防止するため、状況に応じて保護眼鏡、保護マスク、保護手袋を着用してください。
2. 目に入った場合には、多量の水で洗い、医師の診断を受けてください。
3. 皮膚に付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛みまたは、外観に変化がある時は、医師の診断を受けてください。
4. 誤って飲み込んだ場合には、ただちに医師の診断を受けてください。
5. 子供の手の届かないところに保管してください。
6. 施工時には換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
7. 蒸気・ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
8. 作業後は手を洗い、うがいをしてください。汚れた作業服は洗濯してください。
9. 容器は密封し、直射日光を避け、換気のよい冷暗所に保管してください。また、冬期には凍結しないように注意してください。
10. 空容器の処理は、可燃物・不燃物に仕分けして産業廃棄物処理業者に依頼してください。残さ・残液（ボンドなど）は、下水・河川・池・井戸・地下水などを汚染する恐れがある場所には廃棄しないでください。
11. 指定された以外の材料と混合しないでください。

火気厳禁

(プライマー) 危険物 第4類 第1石油類
(接着強化剤) 危険物 第4類 第3石油類 非水溶性液体

施工前の注意事項

1. 材料は直射日光や雨水の当たる場所、湿度の高い場所、高温(40℃以上)、低温(0℃以下)を避けて一定の場所に保管してください。
2. 施工前には試し塗りをを行い、色や模様のパターンの確認を行ってください。
3. 施工にあたっては次のものをご用意下さい。記載に無い物でも、必要に応じてご用意ください。
 - プライマー用：ウールローラー、ローラーバット、刷毛
 - 上塗材用：容器(バケツ)、リシンマザール、ステンレス鍔、鍔板
 - その他左官工具一式(養生テープ、カットマスクなど)
 - 保護具一式(保護マスク、保護眼鏡、保護手袋、作業服等)

施工上の注意事項

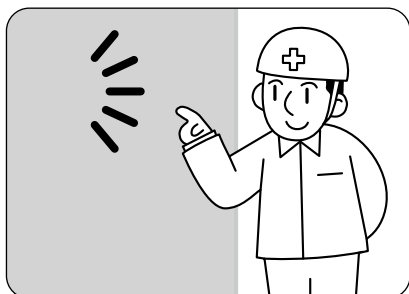
- 屋外施工では天候に十分注意し、降雨、強風時の施工は避けてください。
- 気温10℃以上での施工を標準とします。
- 施工後、乾燥までに気温5℃以下になる場合の施工は避けてください。
- 夏期炎天下での施工は、表面乾燥が促進されるため、日陰養生するか、気温の低い日陰からか、早朝、夕方などに施工してください。
- 施工中は、現場付近での火気の使用は避けてください。
- 樹脂が乾燥するまでは臭気が出ます。室内の施工の場合は、特に換気に注意してください。
- 乾燥するまでは、絶対に水に濡らさないでください。(必要に応じ、シートなどで雨養生してください。)
- 塗り継ぎは塗り付けた塗材が乾燥しないうちに行ってください。連続作業ができない場合は、あらかじめ目地を入れておいてください。

下地に関する注意事項

1. 適応下地

コンクリート・セメントモルタル(金鍔仕上げ) ※木鍔仕上げなど下地が粗い場合は施工できません。

2. 下地について



- 下地はコンクリート、セメントモルタルとし、平らに仕上げたものとします。
- 下地は完全に乾燥させてください。湿っていると塗材のハガレ・フクレの原因となります。



- 下地表面のホコリ、ゴミ、土、レイタンス、油分などは完全に除去してください。



- 下地の不陸(凹凸)、欠損部、クラックなどの不良下地は、あらかじめセメントモルタルなどで平滑に補修してください。

梱包部品一覧表(標準塗布面積 3.3㎡/セット)

梱包名	内容	内容量	数量	
① 樹脂セット	プライマー	500g/缶(溶剤系)	1缶	1ケース
	上塗材用ボンド	2000g/袋	1袋	
	上塗材用接着強化剤	42g/袋	1袋	
	粉末添加剤	97g/袋	1袋	
	施工要領書	1部	1部	
② ペブルウォール骨材		13kg/袋	1袋	

施工手順

施工後、気温が5℃以下になる場合と夏期炎天下での施工は避けてください。気温の高低または、直射日光の影響、風の強弱により乾燥時間が大きく変わりますので注意してください。

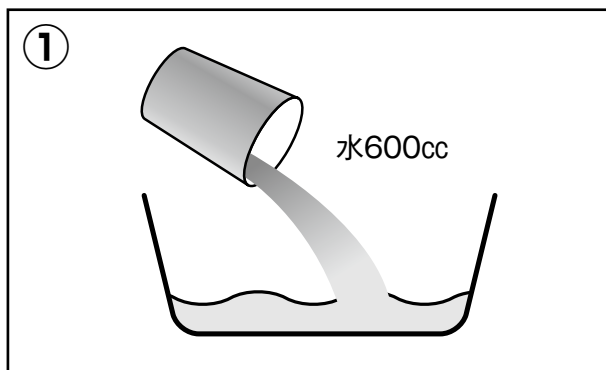
1 プライマーの塗布 (乾燥時間：夏期1時間以上、冬期2時間以上)

養生テープなどで養生後、プライマー原液をウールローラーまたは刷毛を用いて、セメントモルタル下地にしみ込むように規定量塗布してください。

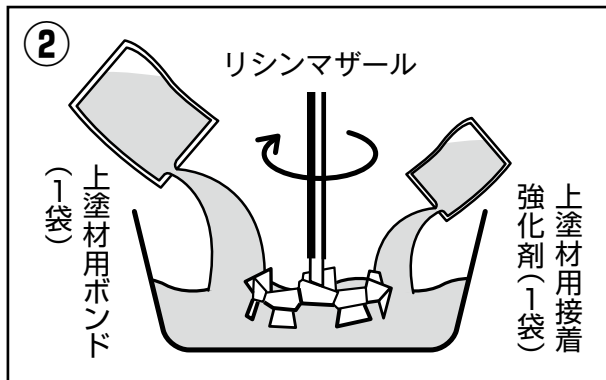
*周囲は必ず養生してください。プライマーが付着すると取り除くことができません。

*溶剤系のため、溶剤特有の臭いがします。

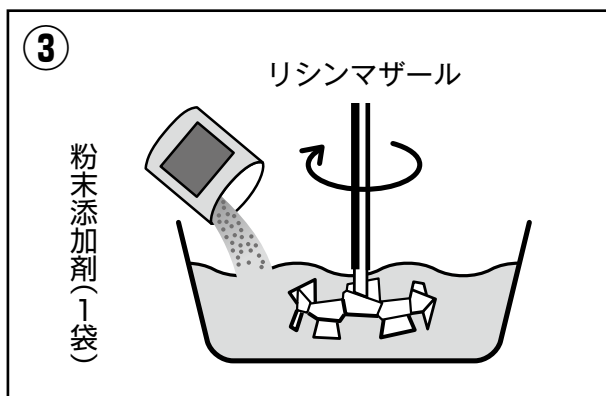
2 上塗材の練り方



容器に水600ccを入れてください。

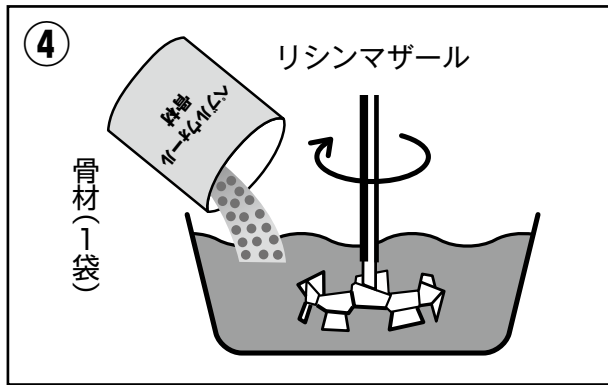


次に「上塗材用ボンド」(1袋)と「上塗材用接着強化剤」(1袋)を入れ、リシンマザールで軽く混合します。

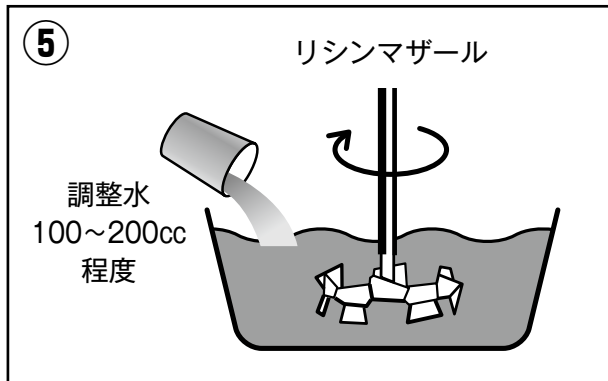


次に粉末添加剤(1袋)を入れ、リシンマザールでボンドに粘性がでるまで十分に混合します。

*粉末添加剤は軽量のため、風等により飛散しますので注意しながら投入し、全量を混ぜ込んでください。



次に骨材(1袋)を投入し、リシンマザールでよく練り上げます。



最後に、作業性を考慮して、調整水を100～200cc程度を加えてください。

*水の入れ過ぎは塗材のダレを生じますので注意してください。

*同一面での塗り継ぎは色ムラの原因となりますので、必要な塗材は一度に混練りしてください。

骨材の練り時間は一定にしてください。練り時間によって骨材の砕け方に差が生じ色違いの原因となる恐れがあります。

3 上塗材の塗布 (乾燥時間：夏期1日以上、冬期2日以上)

- 塗り厚は下地が透けない程度(2mm厚)とし、厚塗りを避けてください。
- 鏝に樹脂が付着して塗りにくくなってきた場合は、水で洗いながら作業を行ってください。
- 塗り付けた後は、すぐに表面を押えて仕上げてください。夏期などの炎天下では塗面が急激に乾燥しますので注意してください。

〈養生テープの剥がし方〉

- 養生テープは、上塗材の仕上げ後、すぐに剥がしてください。遅れると表面乾燥した上塗材がテープと一緒に剥れます。
- 遅れた場合は、翌日など上塗材が完全乾燥してから剥がしてください。

ご不明な点がございましたら、詳細は包材の裏面に記載してありますので、ご覧ください。

四国化成建材株式会社